

2026 年度採用 奨学生 提出書類の注意事項

■はじめに（当財団の奨学生選考）

- ・応募される大学院生に向けた、提出書類記載の注意事項です。不明点等は、奨学金担当部署にご相談下さい。
- ・当財団における奨学生選考では、提出いただいた書類をもとに、以下の視点から、選考委員による審査を実施します。
(1)これまでの学業での実績（学業成績証明書）、(2)研究テーマへの理解や取り組み姿勢（研究計画書）、(3)経済的援助の必要性（願書）、(4)これまでの貴重な経験（願書）、(5)持続可能な社会の実現に向けた活動意欲や実績（願書）、
(6)専門性、キャリア向上に対する強い意欲（日本人）や、今後の国際交流への取り組み意欲（留学生）（願書）
- ・上記視点において、(1)～(2)、(3)、(4)～(6)の3つがほぼ均等配分で、審査されます。

■全書類の共通事項

- ・応募者は、以下の注意事項をご参考の上、提出書類に記入して下さい。
- ・記入欄が足りない場合は、記入欄を追加、拡張してかまいません。
- ・応募者は、記入後、大学院担当部署に提出し、大学院担当部者に、各書類の最初にある【区分】の記入を依頼して下さい。

■奨学金申込書 兼 学生推薦書（指定書式に電子入力）

- ・申請者が奨学金応募者記入欄に必要事項を記入し、大学院担当部署に必要事項の記入を依頼して下さい。

■願書（指定書式に電子入力）

- ・申請者が必要事項を記入し、大学院担当部署に、区分の記入を依頼してください。

1. 応募者本人の現在の状況

- ・メールアドレスは日頃連絡がつき、scholarship@af-info.or.jpからのメールが受信可能なものを記入して下さい。
- ・顔写真は、できるだけ3ヶ月以内に撮影した鮮明で顔が判別できるものを挿入して下さい（JPEG等の画像データで可）。
- ・指導教員が複数いる場合は、推薦書を記述する主たる指導教員を記入して下さい。

2. 学歴

- ・高校以上のこれまでの学歴をすべて記入して下さい。
- ・留学等で複数の学校等に在籍した場合は記入欄を増やして記入して下さい。

3. 職歴

- ・就業歴のある方は、これまでの職歴をすべて記入して下さい（除く、アルバイト）。

4. 資格・検定・受賞・特有技能等

- ・留学生の方で日本語検定をお持ちの場合は、この欄に記入して下さい。
- ・資格・検定以外にも海外経験、学内優秀賞・主席卒業等、あなたの貴重な経験を積極的に記入して下さい。

5. 家族の状況

- ・公正な選考のため、正直に申告して下さい。
- ・両親、兄弟姉妹の情報とともに、それ以外でも同一生計の家計支持者がいればその年収を必ず記入して下さい。自身の独立生計を想定している方も、家族情報は必ず記入して下さい。
- ・既婚者の場合は、配偶者・子女と自身との扶養関係を備考欄に記述して下さい。
- ・就学している兄弟姉妹については必ず在籍校と学年を記入して下さい。

- ・他に扶養家族がいる場合はその旨記入して下さい。
- ・父母と死別や離別の場合は、その時期を備考欄に記述して下さい。
- ・年収（税込）は直近のもので、提出される「収入に関する証明書」に記載された金額を記入して下さい。
- ・2026 年以降の年収に大幅な変動が見込まれる際は、理由とともに概算金額を備考欄に記述して下さい。
- ・同一生計の家計支持者の年収合計の金額が、家計支持「有」とした方々の年収合計となっていることを確認下さい。

6. 応募者本人の家計状況

- ・なるべく応募者個人の 2026 年 4 月以降に想定される収入と支出を月額に換算して記入して下さい（大学院の入学金は除いて記入して下さい）。
- ・扶養家族がいる、または同一生計者と家計が不可分の場合は、同一生計者分の収入・支出を含めた金額を記入して下さい（その場合は、家計状況区分の「2. 扶養者や同一生計者と合算した家計」に○を付けて下さい）。
- ・収入と支出の合計金額が同額になるよう合わせて記入下さい。
- ・授業料は、自己負担額（年額を 12 分割して）を必ず記入して下さい。免除申請中の方は、申請が許可された場合に想定される自己負担額を記入して下さい。全額免除が決定している場合は 0 円と記入して下さい（私立大学の場合、授業料免除に相当する奨学金制度がある場合は、備考欄に申請状況や想定している自己負担額を必ず記入して下さい）。
- ・2026 年 4 月以降、当財団の奨学金支給期間中は、他機関より月額 12 万円を超える給付型奨学金等を受給する場合は応募できません。（授業料に対する援助を受ける場合は制約ありません。月額 12 万円に、大学での TA, RA 等は含めなくて結構です。）
- ・申請中や受給予定の奨学金は備考欄に記入して下さい。

7. 奨学金を必要とする理由

- ・あなたの現況を踏まえて、簡潔に記述して下さい。

8. 現課程終了後の計画

- ・当財団の期待する人財像は、長期ビジョンを持って、より高度な専門性・キャリアを身に付けることに高い関心があり、身に付けたスキルを社会活動に有機的に活用していくことに強い意欲・行動力を持っている人財です。
- ・進学、就職（大学、企業等）、将来のキャリア形成の計画と、その理由を記述して下さい。
- ・上記財団の期待像も踏まえて、今後、自分が将来的に取り組みたいと考えていることや夢を、自由に記述して下さい。

9. 持続可能な社会の実現に向けて

- ・研究テーマが直接この課題に取り組むものでなくても結構です。
 - ・あなたが持続可能社会の実現に向けて、最も大切だと思うこと、あなたが「最も大切だと思うこと」の実現にどのように向き合っていくつもりなのかを記載して下さい。
- また、既に何か具体的に取り組んでいることがあるなら、それを記述して下さい。

10. 日本を留学先とした理由、今後国際交流への取り組み（留学生のみ）

- ・あなたがなぜ日本を留学先としたのかを簡潔に記述して下さい。
- ・あなたが日本での留学経験も踏まえて、今後、どのようにグローバルで活躍していきたいと考えているのか、その思いを記述して下さい。また、既に実践していることがあれば教えて下さい。

11. 日本語能力（留学生のみ）

- ・該当するもの 1 つに○を記入して下さい。

備考 1、2

- ・全ての項目が（OK）となっているかを確認下さい。

■研究計画書（指定書式に電子入力）

- ・申請者が必要事項を記入し、大学院担当部署に、区分の記入を依頼してください。
- ・自身の研究内容について、自分の言葉で分かりやすく要点を明確にして記述して下さい。修士課程で研究テーマが未定の場合、その旨を記述の上、現時点で取り組みたい課題を設定して、それに対する自分の考えを記述して下さい。

1. 研究背景と目的

- ・あなたの研究目的、どのようにそれを設定したのかを教えて下さい。
- ・あなたの研究の背景を踏まえて、なぜその研究するのか教えて下さい。

2. 自身の研究の独自性

- ・できるだけ従来技術と対比しつつ、説明下さい。

3. 研究が成功するための最大のポイントとそのために必要なスキル

- ・研究目的が達成されるためには、いくつかの壁を乗り超えることが必要と思います。その中であなたがもっとも困難、カギとなると思うことを記述して下さい。加えて、そのために、身に付ける必要があると思うスキル等を記述下さい。

4. 研究の波及効果、発展性

- ・あなたの研究目的が達成されたときに得られる進歩性、新規性、社会的意義、学術的意義などを記述下さい。
- ・研究が成功した際、どういう社会貢献が可能となるかを、社会とのつながりを意識して記述下さい。

5. 修学期間内の研究計画

- ・修学期間内で研究目的がどういうステップで達成されるのかを記載して下さい。具体的活動内容よりも各1年が目標に達成に向けてどういう意味を持つ1年であるのかを記載ください。
- ・記載した計画を実現するのに大切なポイント、自分が習得すべきスキルは、何かも記述下さい。
- ・「研究の発展」は、自分なら「さらに研究を続けることでより大きな成果へ導ける」ことを自身の企画力をアピールするつもりで記載下さい。

6. これまでの研究成果の概要

- ・論文執筆、学会発表、特許出願などの経験があればアピールし下さい。ない場合は、記入不要です。

■指導教員推薦書（指定書式に電子入力）：2枚以内で記述して下さい。

- ・2026年4月以降に在籍する大学院の指導教員に、推薦書の記述を依頼して下さい。
- ・原則、日本語での記述を依頼して下さい（止むを得ない場合、英語での記述も可です）。

■学業成績証明書

- ・前課程通期の成績が分かる証明書を必ず提出して下さい。
- ・前課程の成績証明書が海外の大学でも可ですが、英語記載のものを提出して下さい。

■収入に関する証明書（日本人のみ）

- ・応募者の経済状況や家計を把握するため、願書に記入した同一生計の家計支持者全員について、直近の年収（税込）総額がわかる「収入に関する証明書（市区町村長発行の所得証明書等所得を証明できるもの、源泉徴収票、確定申告書、公的年金等の源泉徴収票等）」を提出して下さい。
- ・無職で所得がない場合は、所得がないことが証明できる書類を添付して下さい。